

## 1. 「光が丘パパの会」とは

- 光が丘第五保育園のパパを中心に、2014年に個人で活動開始。  
2015年より幹事（6名）と組織的に活動。  
ホームページ：<http://www.hikarigaokapapa.com/>
  - コンセプト：“Enjoy PaPaSelf !!”
    - 家庭でも、職場でもない、  
「光が丘」×「子育て中のパパ」だけでつながる「ゆるい居場所」。
    - 「パパのワクワク」が、「家族のワクワク」に。  
「家族のワクワク」が、「地域のワクワク」に。
  - 目指すもの：
    - 核家族の子育て→地域で子育て
      - 負担や不安の軽減（パパだけでなく、ママ、家族みんなの）
      - ノウハウや価値観をシェア（10家族10色の子育て）
    - パパ自身のQOL(Quality of Life)向上
      - 気のおけない「仲間」と出会える場（利害関係なし）
      - パパが活躍する場
- ※「パパ自身が楽しめる」こと以外はやらないルール。

## 2. 立ち上げのきっかけ

- 「イクメンブーム」の中、「妻に負担をかけてしまっている」「もっと家族と過ごしたい」、「でも、仕事が忙しくてできない」というジレンマを抱えるパパに多く出会い、サポートしたいと考える。
- ↓
- 自分も同じ悩みを抱えていたが、乗り越えられた理由は？
    - a. 近所にサポートしてくれる先輩パパママがたくさんいた。
      - お迎えや家事を支援してくれた（いざという時に頼れる安心感。）
      - 子どもを連れ出してくれた（夫婦や自分の時間を作れる。）
    - b. 先輩パパママに、子育てに関する悩みをぶつけることができた。
      - 「相談」というより、日常の自然な中で弱音を吐けた。
    - c. たくさんの先輩パパママから、子育てに関する様々な考え方を聞いた。
      - 「こうじゃなきゃダメだ」から解放され、楽になった。



- 信頼し合える「パパ仲間」という関係を地域に増やせば、上記の「型」を提供できると考え、第一弾企画「パパと子どもだけの遠足」を実施（「パパ自身が楽しい」＆「ママや子どもにも嬉しい」＆「信頼関係を築く」）。

※「日本橋パパの会」の活動にインスパイアされて。



- これに手ごたえを感じ、「光が丘パパの会」として定期的に活動するようになった。

### 3. これまでの主な活動

#### 1. パパと子どもだけの遠足（日帰り、おとまり） etc.

- パパと子どもだけで出かける機会を作り、パパと子の絆を強めると同時に、ママに自由な時間をプレゼントしたい。



#### 2. バーベキュー、飲み会、LINE グループ etc.

- パパ同士の情報交換、気兼ねなく話せる関係構築。



#### 3. パパ会主催講座（例：学童情報交換会）

- パパの知っている情報やノウハウを、地域のパパママにシェア。



#### 4. その他イベント

（フットサル、サンタプロジェクト、保育園のイベントへブース出展 他）

#### 5. メルマガ、LINE@、Twitter による情報発信（光が丘×子育て関連） 他

### 4. 実績（2016年1月現在）

「参加パパの満足度とリピート率」と「ママ、子どもたちからの評判」が高い。

- イベント実施回数 2014年：5回、2015年：13回
- 延べ参加人数 パパ：171名、子ども：203名（2016年1月現在）
- メルマガ、LINE@購読者数：34名

## 5. 課題と希望

1. 地域のパパたちに、光が丘パパの会が認知されていない。情報が届かない。
  - 子育て支援関連の活動を行っている団体の紹介（団体の発掘、リストの作成、紹介や広報の支援）をしてほしい。  
→サービスを受けるパパへの情報提供だけでなく、「自分も始めてみたい」というパパが増えたらいいと思う。
2. 団体の信用度が低い（裏付けがない）
  - 現在はNPOにするくらいしか方法がないが、ハードルが高すぎる。
  - 「子育て当事者のニーズに応える団体・お店」に対する認証マーク、みたいなものがあったら、子育て当事者、サービス提供者双方にメリットが大きいのでは。
3. 地域のお他団体（企業、NPO、任意団体等）と情報交換やコラボレーションをしたいが、接点がない。
  - 1に加え、共通のテーマ（課題、地域等）を持つ団体間のコーディネーションや好事例の共有をしてほしい。

以上